

CentreCOM® x310シリーズ

Non-PoE+モデル

AT-x310-26FT

AT-x310-50FT

PoE+モデル

AT-x310-26FP

AT-x310-50FP



Switch



スタティック
ルーティング

IEEE 802.3at
PoE+ 対応

VCStack



AT-x310-26FT-Z1

AT-x310-50FT-Z1

AT-x310-26FT

AT-x310-26FP

10T/100TX
24Ports自動認識

10/100/1000T
2Ports自動認識(コンボ)

SFP
2Slots(コンボ)

スタック
2Slots



AT-x310-26FP-Z1

AT-x310-50FP-Z1

AT-x310-50FT

AT-x310-50FP

10T/100TX
48Ports自動認識

10/100/1000T
2Ports自動認識(コンボ)

SFP
2Slots(コンボ)

スタック
2Slots



カッパースタックモジュール(1m)
AT-StackXS/1.0-Z1



SFPモジュール
AT-SPSX-Z1 AT-SPSX2-Z1 AT-SPFX30/I-Z1
AT-SPLX10-Z1 AT-SPLX10a-Z1
AT-SPLX40-Z1 AT-SPZX80-Z1
AT-SPBDM-A・B-Z1
AT-SPBD10-13・14-Z1
AT-SPBD40-13/I・14/I-Z1 AT-SPBD80-A・B-Z1
AT-SPFX/2-90-Z1 AT-SPFX/15-Z1
AT-SPFXBD-LC-13・15-Z1



マネージメントケーブル
AT-VT-Kit3

※「Z1」はデリバリースタンド1年加入権付き

OPTION

■ SFPモジュール

■ スタックモジュール

■ 壁設置ブラケット

■ コンソールケーブル

■ L字型電源ケーブル

■ フィーチャーライセンス

本体にサポートサービス(デリバリースタンド)の加入権をバンドルした型番をご用意しています。デリバリー2、デリバリー6、またはオンサイトサービスをご希望の場合には、加入権がバンドルされていない型番にてご購入いただき、別途有償サポートサービスをご契約ください。

CentreCOM® x310シリーズ

AT-x310-26FTは10BASE-T/100BASE-TXポートを24ポート、AT-x310-50FTは10BASE-T/100BASE-TXポートを48ポート、SFPスロットと10/100/1000BASE-Tのコンボポートを2ポート、スタックモジュールスロットを2スロット装備したファーストイーサネット・インテリジェント・スタックブルスイッチです。

AT-x310-26FPは10BASE-T/100BASE-TXポートを24ポート、AT-x310-50FPは10BASE-T/100BASE-TXポートを48ポート、SFPスロットと10/100/1000BASE-Tのコンボポートを2ポート、スタックモジュールスロットを2スロット装備したPoE+対応ファーストイーサネット・インテリジェント・スタックブルスイッチです。AT-x310-26FP/AT-x310-50FPの10/100BASE-TXポートはIEEE 802.3at準拠のPoE+機能を搭載しており、1本のイーサネットケーブルで通信データと大容量電力供給を可能にします。

専用スタックモジュール「AT-StackXS/1.0」を装着することで、双方向最大4Gbpsのスタック帯域幅を持つVCS (Virtual Chassis Stack)に対応します。最大192ポートまでポートの拡張が可能のため、端末台数の多い大規模ネットワークの端末収容エッジ・スイッチとして最適なスイッチです。また、多ポート100Mダウンリンク、2ポートの1Gアップリンクのポート構成を活かすことで、配線設計やポート設計を変更することなく既存スイッチからシームレスな置き換えを可能とします。さらにスタティックルーティング機能(64ルート)を標準装備しているため、支店や支所のような小規模ネットワークのコアスイッチとしても利用することが可能です。

また、ファームウェアバージョン5.4.6以降にてAT-SecureEnterpriseSDN Controller (AT-SESC)に対応、SDN/OpenFlowを生かしたソリューション構築を実現します。

特長

● AlliedWare Plus (AW+)

機能ごとのモジュールに分割されており、単一の障害が与える影響範囲を最小限に抑えることが可能です。これにより、旧来方式の製品と比べシステム全体の可用性が格段に高まります。また、業界標準のコマンド体系に準拠し、他社製品からの移行においても、エンジニアの教育にかかる時間と経費を大幅に削減することができます。

● ネットワークインフラのユニファイド化

Allied Telesis Management Framework (AMF) は、ネットワーク上のスイッチやルーターを仮想的な1台の機器として統合管理し、管理運用の「一元化」、「簡素化」、「自律化」によって、管理・運用に関わるコストの削減を実現するネットワーク仮想化機能です。AMFは統合管理を行うAMFマスターと管理されるAMFメンバーからなり、次の5機能により、ネットワークの統合管理を行います。

● 一元管理 (セントライズドマネージメント)

AMFマスターから多数のAMFメンバーを一元管理します。

● 自動構築 (オートレジリエントコネクション)

AMFネットワークの自動構築およびAMFメンバーの自動認識を行います。

● 自動復旧 (スマートプロビジョニング)

AMFメンバー設置時の自動設定 (ゼロタッチインストール^{※1})、AMFメンバー故障時における交換機器の自動復旧 (オートリカバリ)、複数AMFメンバーに対するファームウェアの一括アップグレードや設定変更、一括バックアップを行います。

● 非AMF装置対応 (ワイドエリアバーチャルリンク^{※2})

非AMF装置の混在や広域商用回線を介したAMFネットワークの構築が可能です。さらに、広域商用回線を介して本機能を利用しているAMFメンバーの自動復旧にも対応します (ネイバールリカバリ^{※3}、シングルノードリカバリ)。

● 分散マスター処理 (AMFコントローラー)

AMFマスターの分散配置と統合管理により、大規模ネットワークに対応します。

従来では広範囲にわたる複数拠点ネットワークを管理する際には、距離/台数の関係からロケーションごとにネットワーク管理者およびネットワーク設備が存在し、管理/運用コストが高騰する傾向にありました。x310シリーズはAMFメンバー装置に対応しており、AMFを用いることで、ネットワーク上に存在するすべてのx310シリーズの機器情報・状態の収集や、組織変更・部門異動などによる機器設定変更などを、一か所のAMFマスター装置から一元的に行うことが可能となるため、各支店や支所への専門家の配置が不要となります。これにより、ネットワーク管理/運用に関わる人・物の集約による大幅なコスト削減の実現が可能となります。

※1 ファームウェアバージョン5.4.4-1.1以降よりサポート

※2 ファームウェアバージョン5.4.4以降よりサポート

※3 ファームウェアバージョン5.4.5-1.1以降よりサポート

● EPSR

EPSR (RFC3619) は、レイヤー2レベルでの障害の検出と経路の切り替えをより高速に行います (最短50ミリ秒未満)。また、EPSRスーパーラップリベンション (EPSR-SLP)、EPSRエンハンストリカバリ、独自開発のトポロジー変更時におけるQuery要求機能などにより、マルチキャストアプリケーションへの親和性を高め、かつ二重障害時をも考慮した可用性の高いリングネットワークの構築も可能です。

さらに、ファームウェアバージョン5.4.5-0.1よりプレミアムライセンス (AT-x310-FL01) ^{※4}に対応し、EPSRマスターとしても動作が可能になります。

※4 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよびVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。

特長

●ループガード

接続ミスなどで発生したネットワークループを自動検出し、設定した動作（ポートディセーブルなど）を自動実行するループガードに対応しています。LEDの点滅で視覚的に表示されるため、該当ポートを容易に特定することができます。

●幅広い用途に対応

インテリジェント・エッジ・スイッチとして重要となるセキュリティ、認証、省エネ機能など豊富なレイヤー 2plus機能に対応しながらスタティックルーティング機能を標準搭載した新しい特長を持つxシリーズです。

また、ファームウェアバージョン5.4.5-0.1よりプレミアムライセンス(AT-x310-FL01)^{※4}をリリースし、各種ダイナミックルーティング、EPSRマスターなどの機能を追加可能。エッジ・スイッチから、ダイナミックルーティングを利用したディストリビューション・スイッチなど、様々な環境に適用が可能となります。

●高温度環境対応

AT-x310-50FT/AT-x310-26FP/AT-x310-50FPは動作環境温度0～50℃まで、AT-x310-26FTはファンレスデザインでありながら動作環境温度0～45℃までに対応しているため、高温度環境下への設置が可能です。

●IPv6機能をサポート

IPv6管理インターフェースやSNMP、NTPなどのIPv6マネジメント機能、MLDv1/v2スヌーピング、DHCPリレーやDNSリレーといったIPv6付加機能など、IPv6ベーシック機能を標準搭載しており、将来のIPv6環境化に対して最大限の投資効果を発揮いたします。

●UDLD (UniDirectional Link Detection)^{※5}

UTP、もしくは光ケーブルの物理構成をモニターし、単一方向リンクの検出が可能なUDLDをサポート。UDLDでは、対になっているどちらかのリンクが切断された場合、自動でシャットダウンし、単一方向リンクを回避します。UDLDを用いることにより、物理層と連携した回線の正常性が検知できるため、ネットワークの信頼性を向上できます。

※5 別途フィーチャーライセンスが必要になります。

●アクティブファイバーモニタリング

光ファイバーの受信光レベルを常に監視し、設定したしきい値を下回ると自動的にポートのリンクダウンやSNMPトラップによる通知を実施することかできるため、光ファイバーケーブルの破損などの状況を迅速に把握することができます。

※6 SFP光ファイバーポートでのみ有効。本機能をサポートするSFPモジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。

●VCS (バーチャルシャーシスタック)

スタックモジュールAT-StackXS/1.0を装着することでVCSが可能です。コア、ディストリビューション、エッジの各階層にVCSを活用することで、導入の容易性、構築コストの削減、管理対象デバイス削減による導入運用コストを削減します。x310シリーズのVCSグループは、最大4台のスイッチを自由に組み合わせることで、最大192ポートの高密度収容を実現します。

●充実したセキュリティー機能

● 強固な認証機能をサポート

同一ポート上でIEEE 802.1X認証/Web認証/MACアドレスベース認証の混在を可能とするTri-Auth機能や、同一ポート上でユーザーごとに別々の認証方式で認証し、かつ異なるVLANを動的に付与するマルチプルダイナミックVLAN機能など様々な認証機能に対応し、柔軟な認証環境を実現します。

- Tri-Auth、マルチプルダイナミックVLAN、L3モード エンハンスド ゲストVLAN、Auth-fail VLAN、プロミスキャス/インターセプトWeb認証、2ステップ認証に対応

● 多種多様なセキュリティー機能の搭載

通信内容を暗号化し、安全なリモートアクセス環境を実現するSSHや、ネットワークの集中管理・運用面においても安全性と利便性・運用性を両立するSNMPv3の暗号化・認証機能など、様々なセキュリティー機能をサポートしています。

- ポートセキュリティー、SSH (Secure Shell)、DHCPスヌーピング、SNMPv3、ユーザー認証データベース (RADIUS/TACACS+ 認証) に対応

● PoE+ (IEEE 802.3at) をサポート^{※7}

従来のPoE (IEEE 802.3af) に加え、大容量給電が可能なPoE+ (IEEE 802.3at) に対応しています。48ポートの給電時 (x310-50FPのみ) は7.0W、24ポートの給電時は15.4W、12ポートの給電時は30.0W、装置全体として、370Wまで給電可能なため、PoE+対応のIP電話、無線LANアクセスポイントやネットワークカメラなどの様々なPoE+受電機器が接続可能です。

※7 PoE、PoE+に対応しているのはAT-x310-26FP/AT-x310-50FPのみです。

● AMF-SECソリューション対応

AMF-SEC (AMF-SECurity) は、ファイアウォールやUTMなどのセキュリティー・アプライアンスや、人材管理・資産管理などのビジネス・アプリケーションなどとネットワーク機器を連携させ、ネットワークも含めたITシステムの設定変更やセキュリティー管理を自動化するソリューションです。

本製品は、AMF-SECソリューションにおけるエッジ・スイッチとして動作し、例えばファイアウォールと連携するとファイアウォールが検知した被疑情報をもとに、該当する被疑端末が接続されているスイッチのポートを自動的に遮断することで被疑端末の隔離ができます。これによりIOT端末などでのLAN内の二次感染を防ぐことが可能です。

※8 サポートするSDN/OpenFlowコントローラーは、AMF-SECコントローラー (AT-SESC/SecureEnterpriseSDN Controller) です。AMF-SECコントローラー、および連携可能なアプリケーションについては、弊社ホームページにてご確認ください。

●保守運用性

USBオートブートをサポート。機器設定やファームウェアを保存したUSBメモリーから起動することで、PCレスで設定・ファームウェアバージョンアップ作業が可能になるため、機器交換時やメンテナンス時の作業負担を軽減し、保守運用性の向上が図れます。

特長

● Web GUIを用いた直感的な管理

Web ブラウザーから機器の情報表示や設定が可能な Web GUI を標準でサポートします。

管理者のスキルレベルを問わない、直感的なネットワーク管理が可能です。

● 日本語に対応したインターフェース

日本語表示に対応し、Web ブラウザーからの視覚的な設定・管理が可能です。

● ダッシュボード

ポートの状態、トラフィック統計情報、システム情報など視覚的に表示します。各種情報を要約して表示できるため、複雑なネットワーク情報を簡単に把握できます。

● PoE 設定

PoE ページにて、システムやポート単位の PoE 有効/無効化、給電優先度の設定等が可能になります。また、各ポートの状態や設定も表示できます。

● ネットワーク設定

VLAN インターフェースやインターフェースの IP アドレス、スタティック経路の追加・変更・削除が可能です。

● システム設定

システム情報や動作環境の詳細、システムログの閲覧などが可能です。

仕様

準拠規格	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX/FX*1 IEEE 802.3ah 100BASE-BX*1 IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX*1 IEEE 802.3ab 1000BASE-T IEEE 802.3ah 1000BASE-BX10*1 IEEE 802.3x Flow Control IEEE 802.3af Power over Ethernet*2 IEEE 802.3at Power over Ethernet+*2 IEEE 802.3az Energy-Efficient Ethernet*3 IEEE 802.1D-2004 Spanning Tree, Rapid Spanning Tree*4 IEEE 802.1Q-2005 VLAN Tagging, Multiple Spanning Tree*5 IEEE 802.1X Port Based Network Access Control IEEE 802.1AB Link Layer Discovery Protocol IEEE 802.1AX-2008 Link Aggregation (static and dynamic)*6 IEEE 802.1p Class of Service, priority protocol IEEE 802.1ag Connectivity Fault Management ITU-T G.8032 ERPS	
適合規格	CE 安全規格 UL60950-1, CSA-C22.2 No.60950-1 EMI 規格 VCCI クラス A EU RoHS 指令	
マネージメント*7	SNMP	SNMPv1/v2c/v3
	SNMP MIB	MIB II (RFC1213), IP Forwarding Table (RFC2096) Extended Bridge MIB (RFC2674) ** Extended Interface MIB (RFC2863) SNMPv3 MIB (RFC3411 ~ RFC3415) SNMPv2 MIB (RFC3418) PoE MIB (RFC3621) *2 Ethernet MIB (RFC3635) 802.3 MAU MIB (RFC3636) Bridge MIB (RFC4188) RSTP MIB (RFC4318) DISMAN ping MIB (RFC4560) Entity MIB (RFC6933) LLDP MIB (IEEE 802.1AB) LLDP-MED MIB (ANSI/TIA-1057) Private MIB
	RMON	1,2,3,9 Group
	ターミナル	Telnet, VT100 互換端末 (コンソールポート経由)
通信速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps	
ポート	—	AT-x310-26FT AT-x310-50FT
	10/100BASE-TX (RJ-45 コネクタ)	× 24 × 48
	10/100/1000BASE-T (RJ-45 コネクタ)	× 2*9 × 2*9
	オートネゴシエーション 10M/100M Full/half 固定設定 (10/100BASE-TX)、 10M/100M/1000M Full 固定設定 (10/100/1000BASE-T) MDI/MDI-X 自動認識、MDI/MDI-X 固定設定	
	SFP スロット	× 2*9 × 2*9
	スタックモジュールスロット	× 2 × 2
	RS-232 (RJ-45 コネクタ)	× 1*10 × 1*10
	USB ポート (USB 2.0, タイプ A (メス))	× 1*11 × 1*11

	—	AT-x310-26FP	AT-x310-50FP
	10/100BASE-TX (RJ-45 コネクタ)	× 24 (PoE-OUT)	× 48 (PoE-OUT)
	10/100/1000BASE-T (RJ-45 コネクタ)	× 2*9	× 2*9
	オートネゴシエーション 10M/100M Full/half 固定設定 (10/100BASE-TX)、 10M/100M/1000M Full 固定設定 (10/100/1000BASE-T) MDI/MDI-X 自動認識、MDI/MDI-X 固定設定		
	SFP スロット	× 2*9	× 2*9
	スタックモジュールスロット	× 2	× 2
	RS-232 (RJ-45 コネクタ)	× 1*10	× 1*10
	USB ポート (USB 2.0, タイプ A (メス))	× 1*11	× 1*11
使用ケーブル	—	PoE*12	PoE+*12
	10BASE-T	UTP カテゴリ-3 以上	UTP カテゴリ-5 以上
	100BASE-TX	UTP カテゴリ-5 以上	UTP カテゴリ-5 以上
	1000BASE-T	UTP エンハンスド・カテゴリ-5 以上	—
切替スイッチ	LED ON/OFF ボタン	LED の消灯 (エコ LED)、通常動作の切り替え	
パフォーマンス	—	AT-x310-26FT AT-x310-26FP	AT-x310-50FT AT-x310-50FP
	スイッチング方式	スタア & フォワード	
	最大パケット転送能力 (装置全体/64Byte)	9.52Mpps	13.09Mpps
	スイッチング・ファブリック	56Gbps	156Gbps
	メモリー容量		
	フラッシュメモリー	64MByte	64MByte
	メインメモリー	512MByte	512MByte
	MAC アドレス登録数	16K*13	
	VLAN 登録数	4,094 個 (VID=1 ~ 4,094) *14	
	IPv4 ホスト (ARP) 登録数	512	
	IPv4 ルート登録数	64*15	
サポート機能 【ベーシック機能】	AMF メンバー機能、IPv4 スタティックルーティング (64 ルート*16)、 IGMPv1/v2/v3、ハードウェアパケットフィルタ、マルチホーミング、 VLAN (ポートベース/IEEE 802.1Q タグベース/IP サブネットベース/プロトコルベース)、マルチプル VLAN、UFO (Upstream Forwarding Only)、 QoS (IEEE 802.1p/ポリシーベース/メータリング/シェーピング)、 ポートランキング (IEEE 802.3ad LACP/Manual Configuration)、 ブロードキャスト/マルチキャスト/未学習ユニキャストパケットフィルタリング、 スパンニングツリー (IEEE 802.1D/IEEE 802.1w/IEEE 802.1s)、 BPDU ガード、BPDU フィルタ、スパンニングツリーポートファスト、 PVST+ Compatibility、イーサネットリングプロテクション (EPRS)、 EPRS エンハンスドリカバリー、EPRS スーパールーブリケーション (EPRS-SLP)、 ポート帯域制限、ポートミラーリング、リモートミラーリング、 ポートセキュリティ、フローコントロール*17、 アクティブファイバーモニタリング*18、LLDP、LLDP-MED、Voice VLAN、 ループガード (LDF 検出/MAC スラッシング検出/受信レート検出 (QoS ストームプロテクション))、 パケットストームプロテクション、 IEEE 802.1X 認証モード (Single Host/Multiple Host/Multiple Authentication)、 802.1X 暗号方式 (MD5/TLS/TTLs/PEAP)、 ダイナミック VLAN、L3 モード エンハンスド ゲスト VLAN、Auth-fail VLAN、 マルチプルダイナミック VLAN、マルチ VLAN セッション、 MAC アドレスベース認証、Supplicant MAC 認証、Web 認証、 プロミスキャスト/インターセプト Web 認証、2 ステップ認証、 ポート認証設定テンプレート化、ケーブル診断、 ローカル RADIUS サーバー、RADIUS クライアント、 TACACS+ (Accounting/Authentication/Logging)、 IGMPv1/v2/v3 スヌーピング、EAP/BPDU 透過、Jumbo フレーム対応*19、 バーチャルシャーシスタック*20、スイッチポートレゾリエンシーリンク、攻撃検出、 BOOTP/DHCP リレー、DNS リレー、DHCP クライアント、DHCP スヌーピング、 MLDv1/v2、Ping ボーリング、ARP、プロキシ ARP、 ローカルプロキシ ARP、デレクティブブロードキャスト転送制御、		

仕様

サポート機能 【ベシック機能】	UDPブロードキャストヘルパー、SMTP認証、ログ(外部メディア出力対応)、スクリプト、トリガー、USBトリガー、NTP、Secure Shell、sFlow、TFTP/Zmodem/HTTPによるソフトウェア/設定ファイルダウンロード、IPv6 Basic、IPv6スタティックルーティング(64ルート ^{※16})、IPv6-SNMPv1/v2c/v3、MLDv1/v2スヌーピング、NTPv6、DNSv6クライアント/リレー、DHCPv6クライアント、DHCPv6リレー、DHCPv6-PD、RAガード、HOLブロッキング防止、Findme			
サポート機能 【ライセンス機能】	プレミアムライセンス(AT-x310-FL01) OSPFv2(64ルート ^{※16})、OSPFv3(64ルート ^{※16})、RIPv1/v2(64ルート ^{※16})、RIPng(64ルート ^{※16})、PIM-SMv4/DMv4/SSMv4/SMv6/SSMv6(64ルート ^{※16})、EPSRマスター、UDLD、VRRP アプリケーションライセンス(AT-x310-FL03) UDLD インダストリアルアプリケーションライセンス(AT-x310-FL10) イーサネットCFM(IEEE 802.1ag)、G.8032(ERPS) OpenFlow機能ライセンス(AT-x310-FL15) ^{※22} OpenFlow1.3対応			
LED	10BASE-T/100BASE-TXポートLED ^{※23}			
	L/A(左側)	緑 10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅		
	POE ^{※2} (右側)	緑 受電機器へのPoE電源供給時に点灯、PoE電源の電力使用量が最大供給電力を上回ったことによるポートへの給電停止時に点滅		
	10/100/1000BASE-TポートLED ^{※23}			
	L/A(左側)	緑 1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅 橙 10/100Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅		
	DPX(右側)	緑 Full Duplexでリンク確立時に点灯		
	SFPスロットLED ^{※23}			
	L/A	緑 SFPを介して1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅 橙 SFPを介して100Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅		
	スタックモジュールスロットLED ^{※23}			
	L/A	緑 スタックモジュールを介して1000Mbpsでリンク確立時に点灯、パケット送受信時に点滅		
	ステータスLED(7セグメントとドットによる表示)			
		緑 VCS機能が無効で、単体での動作時に点灯		
		緑 VCS機能が有効で、スタックメンバーとして動作時に点灯(数字はスタックメンバーID)		
		緑 ファームウェアの起動中に点灯		
		緑 内部温度の異常発生時に点灯		
		緑 内部温度の異常発生時に点灯		
		緑 LED ON/OFFボタンによるLED OFF設定時に点灯。横3セグメントは以下の状態を表示 上:スタックメンバーのマスターとして動作中 中:VCS機能が無効で、単体で動作中 下:スタックメンバーのスレーブとして動作		
		緑 USBメモリー接続時に点灯、USBメモリーの書き込み/読み出し中に点滅		
		緑 ファームウェアの起動準備中に点灯		
電源部	AT-x310-26FT	AT-x310-50FT		
定格入力電圧	AC100-240V ^{※24}	AC100-240V ^{※24}		
入力電圧範囲	AC90-264V ^{※24}	AC90-264V ^{※24}		
定格周波数	50/60Hz	50/60Hz		
定格入力電流	1.0A	1.0A		
最大入力電流(実測値)	0.49A	0.83A		
平均消費電力	22W(最大26W)	41W(最大53W)		
平均発熱量	80kJ/h(最大95kJ/h)	150kJ/h(最大190kJ/h)		
	AT-x310-26FP	AT-x310-50FP		
定格入力電圧	AC100-240V ^{※24}	AC100-240V ^{※24}		
入力電圧範囲	AC90-264V ^{※24}	AC90-264V ^{※24}		
定格周波数	50/60Hz	50/60Hz		
定格入力電流	5.0A	5.0A		
最大入力電流(実測値)	5.8A	6.0A		
平均消費電力	240W(最大520W)	250W(最大530W)		
平均発熱量	880kJ/h(最大1900kJ/h)	920kJ/h(最大1900kJ/h)		
PoE ^{※2}	給電方式	オルタナティブB		
	最大供給電力	1ポートあたり 30W 装置全体 370W		
環境条件	動作時温度	0~50°C		
		0~45°C: AT-x310-26FT		
	動作時湿度	90%以下(結露なきこと)		
	保管時温度	-25~70°C		
	保管時湿度	95%以下(結露なきこと)		
質量	AT-x310-26FT	AT-x310-50FT	AT-x310-26FP	AT-x310-50FP
	2.4kg	4.5kg	5.3kg	5.8kg
外形寸法 (突起部含まず)	AT-x310-26FT		AT-x310-50FT	
	340(W)×213(D)×44(H)mm		440(W)×308(D)×44(H)mm	

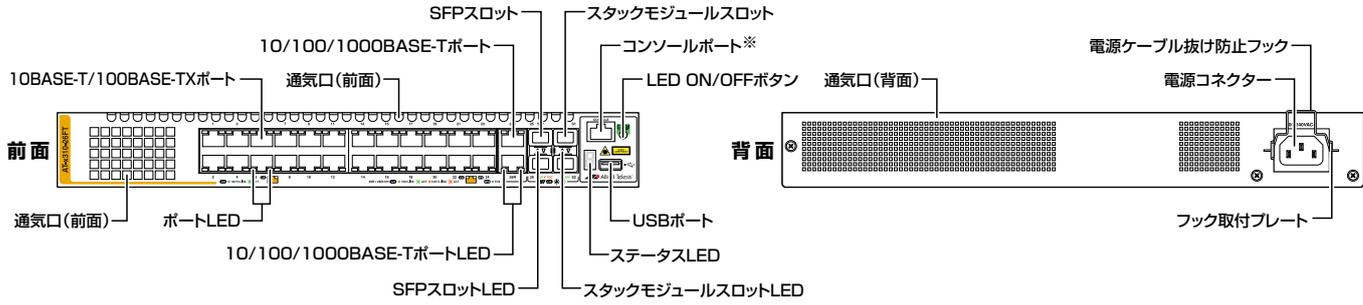
	AT-x310-26FP	AT-x310-50FP
	440(W)×359(D)×44(H)mm	440(W)×359(D)×44(H)mm
パッケージ内容 ^{※10}	本体、電源ケーブル ^{※24} 、電源ケーブル抜け防止フック、19インチラックマウントキット(1式)、梱包内容、本製品をお使いの前に、英文製品情報 ^{※25} 、製品保証書(5年間)、シリアル番号シール(2枚)	
オプション(別売)	CentreCOM x310シリーズ用フィーチャーライセンス ^{※20} ：	
「-Z1」はデリバリースタンドード1年加入権付製品 ^{※26}	AT-x310-FL01-Z1	プレミアムライセンス
	AT-x310-FL03-Z1	アプリケーションライセンス
	AT-x310-FL10-Z1	インダストリアルアプリケーションライセンス
	AT-x310-FL15-Z1	OpenFlow機能ライセンス ^{※22}
	SFPモジュール ^{※21} ：	
	AT-SPFX/2-90-Z1	100BASE-FX(2km)(2連LC)、広範囲温度対応
	AT-SPFX/15-Z1	100BASE-FX(15km)(2連LC)
	AT-SPFX30/1-Z1	100M SMF(30km)(2連LC)、広範囲温度対応
	AT-SPFXBD-LC-13-15-Z1	100BASE-BX(15km)(LC)
	AT-SPSX-Z1	100BASE-SX(2連LC)
	AT-SPSX2-Z1	1000M MMF(2km)(2連LC)、広範囲温度対応
	AT-SPLX10-Z1	1000BASE-LX(2連LC)
	AT-SPLX10a-Z1	1000BASE-LX(2連LC)
	AT-SPLX40-Z1	1000M SMF(40km)(2連LC)
	AT-SPZX80-Z1	1000M SMF(80km)(2連LC)
	AT-SPBDM-A・B-Z1	1000M MMF(550m)
	AT-SPBD10-13-14-Z1	1000BASE-BX10(LC)
	AT-SPBD40-13/1-14/1-Z1	1000M SMF(40km)(LC)、広範囲温度対応
	AT-SPBD80-A・B-Z1	1000M SMF(80km)(LC)
	AT-StackXS/1.0-Z1	カップースタックモジュール(1m)
	AT-BRKT-J22	壁設置ブラケット
	コンソールケーブル ^{※10} ：	
	AT-VT-Kit3	マネージメントケーブル(RJ-45(メス)/USB)
	CentreCOM VT-Kit2	RS-232ケーブル(RJ-45/D-Sub 9ピン)
	AT-PWRCBL-J01L/J01R	L字型コネクタ電源ケーブル(左/右) ^{※27}

- ※1 対応SFPモジュール装着時
- ※2 AT-x310-26FP / AT-x310-50FPのみ
- ※3 AT-x310-26FT / AT-x310-26FPの場合、ポート1~ポート24のみサポート。AT-x310-50FT / AT-x310-50FPの場合、ポート1~ポート48のみサポート
- ※4 IEEE 802.1w Rapid Spanning Tree 包含
- ※5 IEEE 802.1s Multiple Spanning Tree 包含
- ※6 IEEE 802.3ad と同等
- ※7 トラップ情報は、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※8 Q-BRIDGE-MIBのみサポート
- ※9 10/100/1000BASE-T 2ポートとSFP 2スロットはコンボ(共用)ポート
- ※10 本製品にはコンソールポート接続用ケーブルは同梱されておりません。また、出荷時はIPアドレスが付与されておりませんので、別途、マネージメントケーブル「AT-VT-Kit3」またはRS-232ケーブル「CentreCOM VT-Kit2」をご用意ください(AT-VT-Kit3には、別売のUTPケーブルが必要です)。なお、AT-VT-Kit3のUSB使用時の対応OSは、弊社ホームページにてご確認ください。
- ※11 USB 2.0のUSBメモリーをご使用ください。また、ご使用の際には、お客様の使用環境で事前に検証を行ったうえで導入してください。
- ※12 本製品の給電方式はケーブルの予備線を使用するオルタナティブBですので、8線結線のUTPケーブルを使用してください。
- ※13 表中では、K=1024
- ※14 IPアドレスの設定が可能なVLANは511個
- ※15 インターフェース経路、スタティック経路、ダイナミック経路など、各種経路情報を含めた登録数になります。
- ※16 各機能を単体で使用した場合の最大値です。テーブルを各機能で共有しているためシステム全体での最大値が64になります。
- ※17 VCS構成時は、PAUSEフレームの送信(both)はサポート対象外で、PAUSEフレームの受信(receive)のみをサポート
- ※18 SFP光ファイバポートでのみ有効。本機能をサポートするSFPモジュールについては、コマンドリファレンスをご覧ください。
- ※19 9216Byte以下
- ※20 VCS構成でフィーチャーライセンスの各機能を利用する場合は、VCSマスターおよびVCSスレーブの双方に同一のフィーチャーライセンスが必要です。
- ※21 「広範囲温度対応」付きは、動作時温度が-40~85°CのSFPモジュールです。
- ※22 ファームウェアバージョン5.4.6以降にてサポート。サポートするSDN/OpenFlowコントローラーは、AT-SecureEnterpriseSDN Controller(AT-SESC)です。本ライセンス適用時のOpenFlow以外の機能動作については、弊社ホームページに掲載のマニュアルおよびコマンドリファレンスをご覧ください。なお、ファームウェアバージョン5.4.7-0.x、5.4.7-2.xのそれぞれでライセンス形態が変更されています。5.4.6で発行されたライセンスキーは、ファームウェアバージョン5.4.7以降では使用できなくなります。また、5.4.7-0.x、5.4.7-1.xで発行されたライセンスキーは、5.4.7-2.x以降では使用できなくなります。OpenFlow機能ライセンスを適用されている場合、ファームウェアバージョンアップの際にはご注意ください。詳細はリリースノートをご確認ください。
- ※23 LED ON/OFFボタンによって消灯可能(エコLED)
- ※24 同梱の電源ケーブルはAC100V用です。AC200Vでご使用の場合は、設置業者にご相談ください。
- ※25 日本語版マニュアルのみに従って、正しくご使用ください。
- ※26 Zは「デリバリースタンドード」、下1桁目は提供年数を表します。
- ※27 電源ケーブル抜け防止フックとの併用はできません。

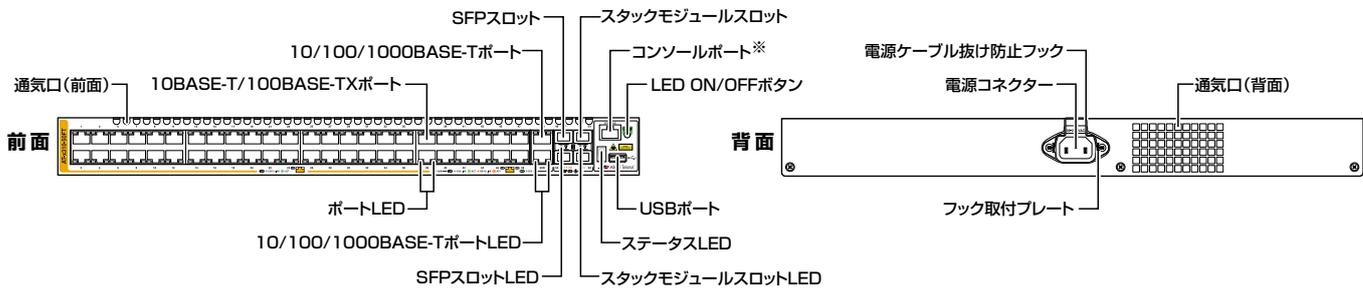
CentreCOM® x310シリーズ

外觀図

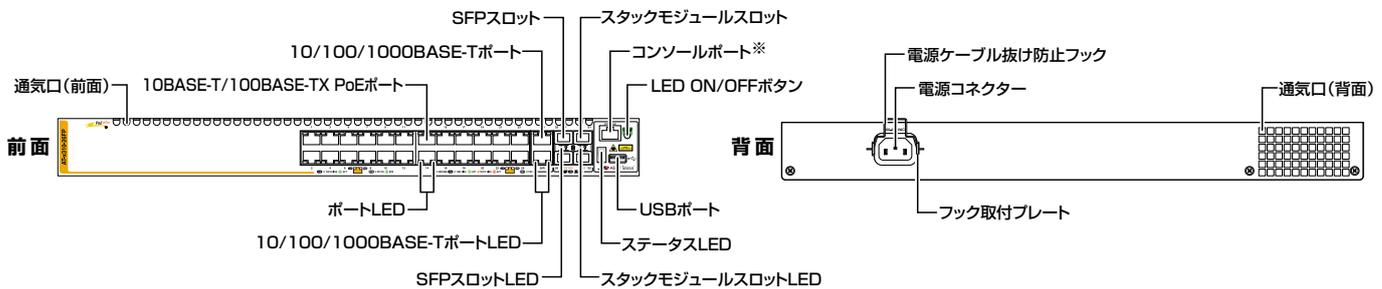
AT-x310-26FT



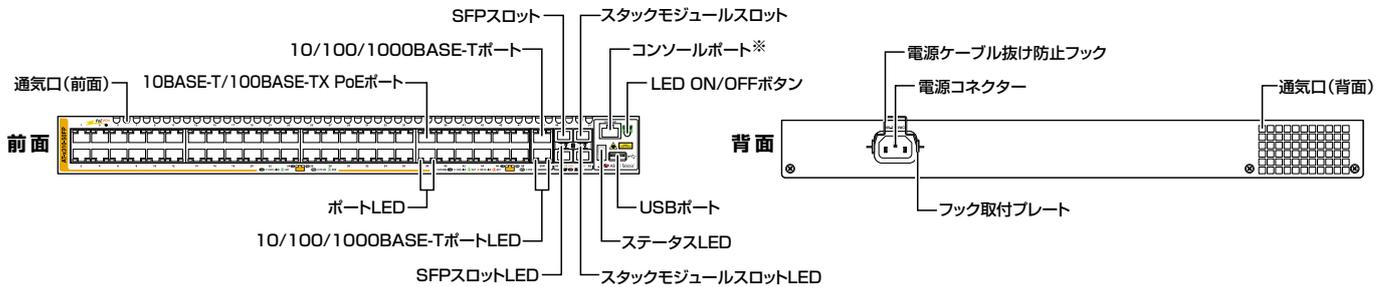
AT-x310-50FT



AT-x310-26FP



AT-x310-50FP



※ コンソール接続にはオプション（別売）のAT-VT-Kit3またはCentreCOM VT-Kit2が必要です。

安全のために
ご使用の際は製品に添付されたマニュアルをお読みになり正しくご使用ください。

●CentreCOM, CentreNET, SwitchBlade, TELESYN, AlliedView, VCStackロゴ, EPSRingロゴ, LoopGuardロゴ, PoE plusロゴ, AT-UWC, Allied Telesis Unified Wireless Controller, SecureEnterpriseSDNロゴ, AT-VA, AT-Vista Managerはアライドテレシスホールディングス(株)の登録商標です。●Windows, Windows Server, Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。●その他、会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。●お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」により非居住者へ提供する場合は、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。●弊社販売製品は日本国内は様であり、日本国外においては製品保証および品質保証の対象外になり、製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

ネットワーク構築などのご質問やご相談は
製品の詳しい情報は(特長、仕様、構成図、マニュアル等)

0120-860442 テレマーケティング (月～金/9:00～17:30)
ホームページ
<http://www.allied-telesis.co.jp/>

販売店

アライドテレシス株式会社 最寄りの営業所の連絡先は下記にてご確認ください
〒141-0031 東京都品川区西五反田7-21-11 第20Cビル 弊社ホームページ>>会社案内>>事業所一覧